

卓 話

平成 27 年 9 月 29 日

『 岐阜県の教育文化事業について 』

岐阜県教育文化財団
理事長 洞田厚男様

洞田厚男様 略歴

- 昭和 52 年 4 月 岐阜県事務吏員 中濃県税事務所主事
- 平成 19 年 4 月 県土整備部建設政策課長
- 平成 20 年 4 月 総務部人事課長
- 平成 22 年 4 月 総務部次長
- 平成 23 年 4 月 労働委員会事務局長
- 平成 23 年 9 月 岐阜振興局長
- 平成 25 年 4 月 岐阜県土地開発公社・岐阜県住宅供給公社理事長
- 平成 26 年 3 月 岐阜県職員定年退職
- 平成 26 年 4 月 (公財) 岐阜県教育文化財団理事長 現在に至る



第 1 組織の経緯と目的

【経緯】

- 平成 3 年 4 月 財団法人 岐阜県文化財保護センターとして設立
- 平成 15 年 4 月 財団法人 岐阜県教育文化財団へ名称変更
- 平成 23 年 4 月 財団法人 岐阜県健康長寿財団を吸収合併
- 平成 25 年 4 月 公益財団法人に移行

【目的】

県民文化及び地域文化の振興と発展並びに健康づくり及び生きがいの推進を図ることにより、人間中心のうるおいと安らぎのある生活を提供することを通じて、心身の健康と豊かさを実感できる「誇りあるふるさと」岐阜県づくりに寄与することを目的とする。(財団・定款)

第 2 組織

評議員会 理事会 監事	事務局	・経営管理課	(予算決定・決算、会計経理、福利厚生)
		・企画運営課	(ぎふ清流文化プラザ事業企画運営)
		・県民文化課	(岐阜県美術展、岐阜県文芸祭、公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業)
		・地域文化課	(ひだ・みの創作オペラ、音楽文化振興事業、助成金、ジュニア文化祭)
		・健康長寿課	(健康・生きがいのづくり、文化団体等交流会)

第 3 事業概要

【岐阜県民文化祭開催事業】

■ひだ・みの創作オペラ

県下の歴史、文化を題材に、県民が参加する岐阜県オリジナルの創作オペラ
 次回公演 平成 27 年 10 月 31 日 (昼、夜) 11 月 1 日 (昼)
 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール 2,000 円

■岐阜県美術展

日本画、洋画など 7 部門により作品を公募
 平成 29 年度から、新たな二つの美術展に改革

■岐阜県文芸祭

創作 (小説) など 10 部門により作品を公募

【文化活動振興支援事業】

- ジュニア文化祭
次代の文化活動の担い手となる青少年の文化活動を支援
- 文化団体等交流会
文化団体や文化人を対象とした交流会
- 文化団体等活動支援助成
県内の文化団体が行う文化活動に対する助成
- 古典・伝統文化活用多世代交流助成
民間の幼稚園、保育園が行う古典・伝統文化を活用した多世代交流事業に助成
- 小島信夫文学賞事業助成
県出身の芥川賞作家・故小島信夫氏の文学的営為を顕彰し、新人作家の発掘を目指す団体（小島信夫文学賞の会）に助成
- 公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業
（一社）地域想像による支援で、市町村が有するホールにおいてアウトリーチの手法やアウトリーチによる事業展開の普及を図る

【音楽文化振興事業】

- ぎふ・リスト音楽院マスターコース
ハンガリーのリスト音楽院から教授を招聘して行う公開レッスン、コンサート
- ぎふ・プラハ音楽院セミナー
チェコのプラハ音楽院から教授を招聘して行う公開レッスン

【ぎふ清流プラザ文化事業】

- ぎふ清流文化プラザ事業企画運営
- 次世代の文化芸術の担い手の育成及び障がい者の文化芸術活動を支援するため自主企画事業を実施
- 文化芸術県民ギャラリーの運営
- <ぎふ清流文化プラザの二つの基本コンセプト>
- ①子ども、若者など次世代の文化芸術の担い手を育成し、県民参加による新たな文化を創造するための拠点
- ②障がい者の文化芸術活動の拠点

【健康・生きがいづくり支援事業】

- ねんりんピック派遣
全国の高齢者が、スポーツ・イベントを通してふれあいと交流を図る「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」に選手役員を派遣
- 結核予防・がん予防普及啓発
結核予防会及び日本対がん協会の各岐阜支部として予防普及啓発活動を実施
- 複十字シール募金運動
結核予防会と婦人団体とが協力して実施
- 健康運動普及啓発
市町村などへ健康運動指導士を派遣

公益財団法人 岐阜県教育文化財団
岐阜市学園町3丁目42番地
ぎふ清流文化プラザ 1階
電話 058-233-8161
FAX 058-233-5811
URL <http://www.g-kyoubun.or.jp/jimk/>